

# ベナンの風便り

2009年1月号

Bonne année! (ボン・アネー!) あけましておめでとうございます。3年生はいよいよ入試、自分の夢に向かって頑張ってくださいね。

さて、みなさんにとって今年はどんな年にしたいですか?ベナンでの生活も、あとたったの1年2か月となってしまいました。だから私にとって今年は勝負の年。でも誰かに与えられる仕事は何もないので、自分にできることを探して活動しています。どこまで自分にできるかわかりませんが、ベナンの人々のために精一杯活動して、こちらでのアフリカンライフを思う存分楽しみたいと思います。

ということで、今回は私がベナンでどのようなことをしているのかを紹介します。

## ① 授業の視察、アドバイス、教科会での提案等

中高一貫校で継続的に SPCT (物理・化学) の授業を視察し、アドバイスを行っています。教員経験のまだまだ少ない私がアドバイスなんておこがましいですが、実験活動がしっかり行われず、黒板を写すのみの授業が行われているので、特に実験活動についてのアドバイスを行っています。実験器具のある学校ではそのやり方、ない学校では簡単に手に入る材料を使って少しでも実験活動ができるようにその方法を提案しています。また週1回教科ごとで先生たちの会議があるので、その場で授業に関する全般的なことの提案を行っています。

## ② 教育省による理数科教師会議の開催、提案等

教育省の理数科トップの人たちと協力して、理数科の先生たちの会議を開催したり、ベナン人の先生たちに模擬授業をやってもらったりしています。また自分の気付いた点の発表や提案などを行っています。この会議に参加しているのは日本の援助でケニアや日本へ研修に行った経験のある先生たち。前任者たちの代から始まった活動で、今後全国展開を考えていますが、予算の都合等でどの程度できるかは未定です。ただ今後ベナンの将来を担っていく先生たちとの活動なので、できる範囲で協力をしていきたいと思っています。

## ③ 科学実験教室の開催

ベナンでは実験器具の不足等、様々な理由で授業中に実験がほとんど行われていないので、生徒たちも実験の経験がほとんどありません。だから少しでも実験の楽しさを伝えるために、授業のない水曜日の午後の時間を使って、簡単な科学実験教室を開催しています。日本では小学生がやるようなことでも、こちらでは中学生がみんな楽しんでいます。また先生たちも実験の経験が豊富なわけではないので、できるだけ一緒に参加してもらって、自分のできることを先生たちに伝えようとしています。

## ④ ゴミ拾いボランティアの運営

ベナンの人は残念ながらゴミをポイ捨てする習慣がついてしまっていて、それは学校内でも同じ。でも将来的に必ずゴミ問題が起こるし、健康にも良くない。またゴミだらけの学校なんて学習環境が良くないですよ。だからまずベナン1の伝統校でゴミ拾いボランティアを集め、月1回活動をしています。ただポイ捨てが当たり前になっている人たちに、「ゴミ拾いをしましょう!」と言ってもなかなか人が集まらないのが現状です。今後時間を作ってゴミをポイ捨てしないように環境教育なども行っていけると良いと考えています。そしてこの活動が大きくなって将来的に他の学校にも広まることを期待しています。

今後は上記の活動の延長として、「教員研修会での研修実施」や「簡易実験を行うための教材作成」を考えています。短い時間には限られていますが、「成功」の反対は「失敗」ではなく、「何もしないこと」。とにかく動いていきたいと思っています。



科学実験教室 紙ブーメランを作ってみみんなで記念撮影

ブログ更新中

ベナンの風: <http://benin.seesaa.net/>